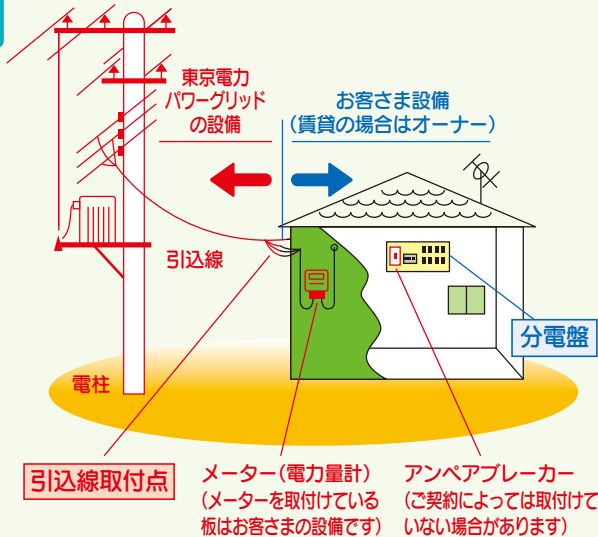


どこからが お客さまの設備？

電気は主に、電柱から**引込線**で
各ご家庭に送られてきます。

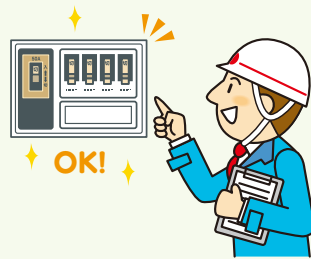
引込線より先はお客さまの設備

多くの場合、軒先などに取付け
られている**引込線取付点**（黄色
または赤色のチューブがついて
います）までが東京電力パワー
グリッドの設備、その先はお客
さまの設備です。（ただし、メー
ター（電力量計）、分電盤内の
アンペアブレーカーは東京電力
パワーグリッドの設備です。メー
ター（電力量計）、アンペアブ
レーカーに接続されるケーブルはお客
さまの設備となります）



お気づきの点があればご相談を！

電気製品が故障していないのに、アンペアブレーカーがたびたび切れる場合、電気の使い方が契約アンペアをこえている可能性があります。また、古くなった電気設備で思わぬ事故をおこさないように、日頃から関心を持ちましょう。お気づきの点があった場合は、お近くの電気工事店または、住宅電気工事センターへご相談ください。



●工事についてのお問い合わせは

お近くの電気工事店または、住宅電気工事センターへ

●設備・停電に関するお問い合わせは

東京電力パワーグリッド 0120-995-007

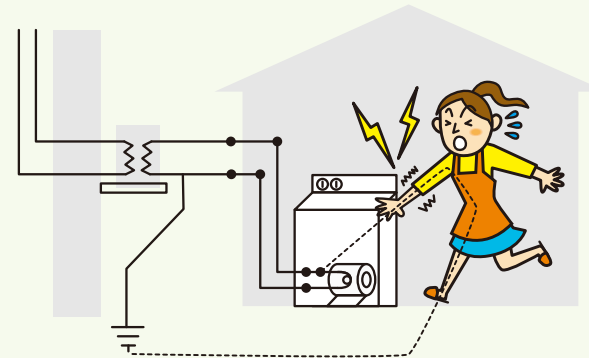
【受付】9:00～17:00（日・祝、年末年始除く）停電など緊急のご用件は、全日24時間承ります

電気安全関東委員会 事務局 <https://www.kandenkyo.jp>

※電気安全関東委員会では、漏電遮断器の販売・取付工事は行なっておりません。

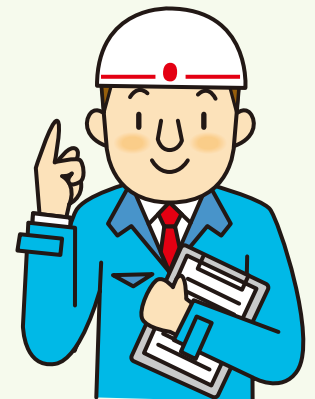
ご家庭の分電盤は 大丈夫ですか？

漏電による感電事故！



こんな事故を起こさないための
大切なお知らせです！

分電盤トラブルで電気製品が故障！



電気安全関東委員会

ご家庭の分電盤はご自身で管理する個人の設備です。

分電盤の中はこうなっています

分電盤は各部屋に電気を分配し、電気の使い過ぎや漏電を防ぐ大切な役割を果たします。イザという時のために、分電盤の事を知っておくと安心です。

漏電遮断器 (漏電ブレーカー)

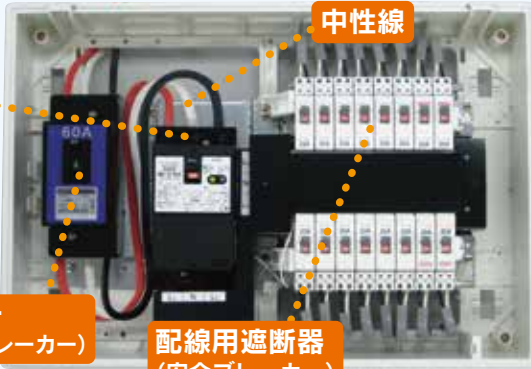
漏電遮断器は配線や電気器具から漏れる電流をすばやく感知し、瞬時に電気を遮断して漏電による事故を防ぎます。

アンペアブレーカー (電気事業者との契約用ブレーカー)

契約アンペア以上の電気が流れると、自動的にスイッチが切れ電気が止まります。(ご契約によっては取付けていない場合があります)

配線用遮断器 (安全ブレーカー)

それぞれの回路で15または20アンペア(1,500または2,000ワット)以上の電気が流れた時や、配線がショートした時に、自動的にスイッチを切り、電気を止める安全装置です。



中性線のトラブルが起きています

単相3線式には中性線欠相保護機能付きの漏電遮断器を

多くのご家庭で使用されている単相3線式配線では、中性線(真ん中の白い電線)の接触が悪くなると電圧が不安定になり、電気製品が故障する事があります。「中性線欠相保護機能」は、このようなときに、いち早く電気を遮断するもので、安心して電気をお使いになります。



「中性線欠相保護機能付き漏電遮断器」かどうかはココをご確認ください。

感震ブレーカーを取り付きましょう

地震を感知すると感震ブレーカーは、自動的にブレーカーを落として電気を止めてくれます

東日本大震災における本震による火災のうち原因が特定されたものの過半数が電気関係の出火でした。感震ブレーカーは大きな地震が起こったときに電気火災を未然に防止してくれるものです。この機会に、是非感震ブレーカーの設置についてご検討下さい。感震ブレーカーには下記の表のとおりいろいろなタイプのものが存在します。

【感震ブレーカーの種類】

	分電盤タイプ (内蔵型)	分電盤タイプ (後付型)	簡易タイプ	コンセントタイプ
形状				
作動方式	分電盤内蔵感震センサー	分電盤外付け感震センサー (要漏電ブレーカー)	パネ、重り落下、疑似漏電電流	コンセント内蔵センサー
遮断方式	家全体の電気を遮断	家全体の電気を遮断	家全体の電気を遮断	家の一部の電気を遮断 (コンセントから先)

漏電・感電事故を防ぐために

漏電遮断器の取付け・交換をおすすめします

電気は安全・便利なエネルギーとして、わたしたちの暮らしに欠かす事のできないものです。しかし使い方をあやまると思わぬ事故につながる場合があります。そんな事故を未然に防ぎ、電気を安全・快適にお使いいただくため漏電遮断器の取付けをおすすめします。また、洗濯機、衣類乾燥機など、湿気のあるところで使う電気製品には、漏電遮断器といっしょにアースも取付けましょう。



年に1、2回は 漏電遮断器の動作確認を!

テストボタンを押して漏電遮断器が正常に動作しているか確認をしてください。なお、テストの際には電気が消えますのでご注意ください。

年に1、2回のチェックをおすすめします。長期間使用して古くなったりご使用環境により漏電遮断器が正常に動作しない場合は、取り替えが必要になります。

漏電遮断器は製造後15年が交換の目安です。

